

町長の日記

15年5月20日(火)

新しい議員になって二度目の臨時議会が開かれた。

去る5月9日の最初の臨時議会の時は選挙の疲れと議長選挙や議会構成のことなどで緊張感がただよって皆さんの顔が厳しかったが今日は最前列の新議員さん達がいい顔をされていて議場の雰囲気がとても新鮮で明るかった。

6月15日に高橋新知事が道民の森の植樹祭に来られることになったので当別町のボランティア活動をしている女性グループをお誘いして逢いに行く計画をたてた。

先日札幌で知事を見た時、選挙後で大分スリムになっていたが一段とさわやかな姿であられたから、きっと当別の女性の心を打つ美しさが見られると思う。

“洗練”されたものは、どんな状況にあってもやはり美しい。

当別町の「美しいまちづくり」も始まったばかりだがこの町の潜在的な美しさを活かして何年かかっても完成させたいと私は強く思っている。

町は昨年町内会が集めてくれた、あちこちの不法投棄物約80t処理し、更に河川敷地や防風林の枯損木等37haぐらい景観整備をした。

町民は道路や空地の雑草刈をしてくれたし、各町内会が自主的に花を植栽してくれたフラワーロードは延長にして1,700m以上だった。

然し不在地主の雑草や引きつづき起きている犬糞、古タイヤ、家電などの不法投棄に今年は6月の議会で「条例」を制定して断乎対策をたてることにしたい。

「美しいまちをみんなで作る」ことは地方自治の原点であり、環境の時代にとっても大切な事と思う。

道民の森で当別の女性が知事と逢ってすてきな女性同志どんな美しい華が咲くか今から楽しみだ。

当別町長泉亭俊彦

町では昨年、住民一人ひとりが主役の美しいまちづくりを実現させるために「美しいまち当別をみんなで作る条例」を制定しました。昨年は、道路沿いに花を植えた



太美スターライトでの花壇整備

みなさんの活動で地域を美しく！

り、草刈りやごみ拾いなど、各地域で様々な取り組みがなされ、以前よりも町全体がきれいになりました。

このような活動をこれからも継続させ、町全体に浸透させていくことが美しいまちづくりには不可欠です。

そのためにも引き続き、できることから地域全体で美しいまちづくり活動に取り組みしましょう。

なお、「美しいまちづくり推進補助金」交付申請は、4月30日で締切りましたが、今年度の枠に少し余裕がありますので、引き続き受け付けますので、是非、活用ください。

※審査の都合上、7月まで毎月末を申込み締切りとし翌月の中旬には交付の可否をお知らせする予定です。

▼詳細 まちづくり推進課 (☎3-3073)

“美しいまちづくり”に向けた取り組み

町内会や各団体は、河川沿いのゴミ拾いや草刈など、自主的な活動に取り組み、美しいまちづくりを行っています。

例年行われている当別町保健衛生会のパンケチュウベシナイ川の清掃や、若手農業青年で組織する当別町4Hクラブは、初の試みとして畑や排水のゴミ拾いをグループで行いました。

当別町保健衛生会(金山保会長)によるパンケ川の清掃活動



当別町4Hクラブ(稲村英樹会長)による畑や排水のゴミ拾い活動